

突然のお葉書で失礼致します。

「殺処分反対」「譲渡頭数を上げろ」「行政機関での引取禁止」等の耳障りの良い言葉を叫ぶ団体・議員がいたら当方まで通報を。偽装愛護団体の疑い、ペット産業界の回し者の疑いがあります。

●「行政機関での引取禁止」について

行政は、飼い主から仔狗仔猫を持ち込まれた場合、引取るべき。飼い主は、命を持って余しているからこそ保健所へ引取りを頼む。そういう飼い主へ里親探しをすべきと強要したらどうなるか。飼い主は悪い人を無理矢理、良い人に見立てて渡すだろう。一日も早く家から追い出す為に、誰かれ構わず渡すだろう。そして悪循環となる。

●「譲渡頭数を上げろ」について

譲渡条件を甘くすれば目先の処分数は減るが、条件が甘いほど虐待飼育となる率が高くなる。人間が動物を虐めるのはたやすくても、動物は自力で逃亡して自活するなど無理。自力で去勢不妊を受けに行くのも無理。だからこそ譲渡条件は厳しいほうが良い。そのほうが長期的に視ると処分数が減る。

●「殺処分反対」について

処分される要因は繁殖にある。

一般飼い主・生体販売業者を問わず、産ませた飼い主は命を持って余し、一日も早く家から追い出す目的で新しい飼い主を探す。実質遺棄。

一般飼い主・業者を問わず、産ませた飼い主は命を持って余し、一日も早く、家から追い出す目的で、虐待飼育をするような悪い者を無理矢理、良い人に見立てて譲る。実質虐待。

繁殖する者を放置したまま行政へ「処分反対」と叫ぶのは筋が違う。言うべき相手へ言いにくいから、言いやすいところへ言うのだ。原因を放置したまま最終段階（処分）に携わる者へ文句を言う軽薄さ。抜本的解決が必要。

行政が繁殖を容認したら行政へ「繁殖を容認してはならない、繁殖制限努力義務とは努力する義務がある、努力しなくて良いのではない」と批判すべき。行政官の中に繁殖する者がいたら、その行政官を個人攻撃すべき。

●法改正は目眩まし

法は強固に越したことはないが、現行法でも十分に改善できる。それにも拘わらず「法改正 法改正」と叫び、現行法では何もできないという印象を与える。にわか有志はそれに踊らされ、法改正に何十年もの無駄な年月を注ぐ。その間、生体販売は温存され、売れ残った動物は虐殺され続ける。このように恒常的に虐待が行われている。現行法の下でもすぐに生体販売をボイコットすれば良い。現行法でも十分に救える道はある。

●エセ愛護団体の特徴（あてはまる項目が多いほどエセ）

○有名人との写真撮影好き○随所へ訪問し写真撮影（やけに被災地へ行きたがる）○マスコミへの露出が高い（マスコミはペット産業界とズブズブ。そのマスコミから受け入れられるのは、ペット産業界を温存する立場にあるか、回し者）○活動方針が抽象的。例えば、動物を救助するシステム作り云々、命を慈しむ教育云々、保護した動物を譲渡する云々

●処分ゼロ運動の裏にあるもの

「処分ゼロを」は耳障り良い。利を貪る仕組みを確立しやすいはず。事実、「処分ゼロを」をアピールした自治体は、飼い主からの引き取りを無差別に拒んだり、捕獲犬を処分せずに虐待飼育を続けた。それがマスコミからもてはやされた。マスコミはでっちあげでも何でもする。

●偽装愛護議員に要注意

不勉強なのか打算なのか判らないが、政治家が耳障りの良い「処分ゼロを」に加勢している。処分ゼロを目指すなら、最低でも緊急に繁殖する者へ懲役刑を科す等の措置が必要。それをせずに、里親探しを推奨してみたり、生き地獄といえる行政抑留所での保管期間の延長、、、もの言えぬ動物をとことん利用して人気取り。

「アニマルポリス」は福島でトップレベルの極貧生活をする主婦による慈善活動です

福島市矢剣町 1 1 - 3 星野節子（主婦）024-563-7650
ブログ <http://ameblo.jp/animal-police>
アメーバ検索で「動物の繁殖は虐待」で検索を
ホームページ <http://www2.tky.3web.ne.jp/~meme/>
Infosec で「アニマルポリス 星野」で検索を

ペット店・ブリーダーは反社会的な職業、買う人も反社会的
一般飼い主・業者を問わず、繁殖は虐待。